沖縄工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	文学概論

科目基礎情報

科目番号	4021	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	情報通信システム工学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『国語総合』（教育出版）／『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）／教員編成資料		
担当教員	片山 鮎子		

到達目標

文学と社会との関わりを考える。
①日本文学史の基礎を学ぶ。
②各種の資料に触れつつ、多様な表現の可能性について考える。
③資料の翻訳を通じて文学と表記に対する意識を高め、表現する力を養う。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な 到達レベルの目安
日本文学史の基礎を学ぶ。	日本文学史について十分に理解している。	日本文学史について概ね理解している。	日本文学史について理解している。
各種の資料に触れつつ、多様な表現の可能性について考える。	各種資料の特質を十分に理解し、多様な表現の今後の可能性について自己の見解を的確に表現できる。	各種資料の特質を概ね理解し、多様な表現の今後の可能性について自己の見解を表現できる。	各種資料の特質を理解し、多様な表現の今後の可能性について自己の見解を表現できる。
資料の翻訳を通じて文学と表記に対する意識を高め、表現する力を養う。	文章を適切に読解することができ、他者へ十分に意図が伝わるよう表現することができる。	文章を適切に読解することができ、他者へ意図が伝わるよう表現することができる。	文章を読解でき、意図が伝わるよう表現することができる。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	文学と社会の関わりを多角的に学ぶ。
授業の進め方・方法	一般教養対策として小テストを実施する。 授業は基本的に講義形式で進め、適宜課題を行う。
注意点	小テストにはPCを使用する。 近代以前の和本資料を用いるため、授業の前に席捲で手を洗い、資料を触る際には扱いに注意すること。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス／文字と文学	ガイダンス／文字と文学の関係について
		2週	漢文について（１）	東アジア一帯で用いられた漢文について学ぶ。
		3週	漢文について（２）	日本が受容した中国文学について学ぶ。
		4週	訓読について（１）	漢文訓読の歴史について学ぶ。
		5週	訓読について（２）	同上
		6週	訓読と翻訳について	同上／訓読文および現代語への翻訳を実践する。
		7週	日本の文字表記について（上代）	漢文と万葉仮名の関係、上代の表記からわかる当時の日本語について学ぶ。
		8週	日本の文字表記について（中古）	平仮名・片仮名の成立、仮名文学と当時の日本語について学ぶ。
	2ndQ	9週	日本の文字表記について（中世）	ローマ字表記とキリシタン文学、狂言などから当時の日本語について学ぶ。
		10週	日本の文字表記について（近世）	草書と楷書、印刷、小説類、当時の日本語について学ぶ。
		11週	日本の文字表記について（近代）	文語と口語、言文一致運動について学ぶ。
		12週	古文と翻訳について	古典作品をとりあげ、現代語へ翻訳する。
		13週	レポートの作成（１）	テーマを決め、資料を集める。
		14週	レポートの作成（２）	レポートの下書きを作成する。
		15週	レポートの作成（３）	レポートの下書き、清書をする。
		16週		

評価割合

	試験	レポート	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	10	0	0	20	100
基礎的能力	0	30	10	0	0	20	60
応用力	0	20	0	0	0	0	20
社会性	0	20	0	0	0	0	20